出題のねらい 〔一般選抜（A方式）〕

中村学園大学〔教育学部〕

【英 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した英語の基礎学力・運用力をみる問題で構成。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの範囲から、まんべんなく出題している。

第1問 誤りやすい単語の正しい発音・アクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 英文中の語の意味をつかみ、正しい同意語を選ぶ語彙力を問う。

第4問 2人の対話文の中で前の発話とのつながりから内容を推測する力、および、文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第5問 会話の流れを正確に把握する力、コミュニケーション英語力、英文中の情報を正確に読み取り判別する力を問う。

第6問 長文の読解力・内容把握力を問う。

【国 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した基礎力・読解力の定着度を確認する問題を出題している。出題は、国語総合（漢文を除く）の範囲である。

第1問 現代文・評論 長谷川英祐『働くアリに幸せを』からの出題。

漢字の書き取り、語句の読みといった基本的な知識のほか、空欄補充、傍線部の内容・理由説明、内容合致といった問題で、文章を論理的に読み取る力を問う。

第2問 古文『松浦宮物語』からの出題。

古語の読み、語句の意味、文法といった基本的な知識のほか、動作の主体の確定、傍線部の表現や語句の説明、傍線部の解釈、傍線部の内容説明、内容合致といった読解問題で、文章を丁寧に読み取る力を問う。

【数 学】

〈出題のねらい〉

3大問で構成されている。各分野から偏りなく出題されており、教科書の基礎・基本が確実に身につけているかどうかを問うている。

第1問 2次関数、図形と形量、整数の性質、対数関数の分野からの出題。各分野の基礎的な理解を小問形式で問う。

第2問 場合の数と確率の分野から、大問形式での出題。カードを取り出す試行において、場合の数、条件付き確率について基本的考察力を問う。

第3問 微分法・積分法の分野から、大問形式での出題。3次関数のグラフの概形、接線、面積などの基本事項を問う。

【化学基礎・化学】

〈出題のねらい〉

化学基礎、化学の基本的な内容を中心に、各分野の内容を幅広くみる問題を出題する。

第1問 化学基礎の中から、「化学と人間生活」「物質の構成」の分野の基礎的内容について、小問形式で問う。

第2問 化学基礎の中から、「化学結合」「物質と化学反応式」などについて、小問、および1つのテーマで3問程度の内容を問う。

第3問 化学基礎の「酸・塩基」に関する基本項目を小問形式で、また、「強酸性の温泉水の中和」をテーマとした項目を大問形式で問う。

第4問 化学基礎の「酸化と還元」に関する基本項目を小問形式で、「鉄鉱石の還元」をテーマとした項目を大問形式で問う。

【生物基礎・生物】

〈出題のねらい〉

栄養科学部は、生物基礎の全分野、および生物の「生命現象と物質」・「生殖と発生」の分野から、基本的な内容を中心に出題する。

教育学部は、生物基礎の全分野から、基本的な内容を中心に出題する。なお、第1問～第3問は、栄養科学部と教育学部とで共通問題である。

第1問 「小問集合」(生物基礎)

生物基礎の全分野から、小問形式で出題する。文章選択や語句選択、グラフ選択、図を用いた問題などで、様々な観点から基本的な知識や理解を問う。

第2問 「生物と遺伝子」(生物基礎)

生物基礎の「生物と遺伝子」の分野の内容を中心に出題する。本問では、DNAの構造や、細胞分裂とDNAの複製について、基本的な知識や理解を問う。また、DNAの長さについての計算力も問い、複製については半保存的複製と保存的複製について、仮説を立てて考察させる。

第3問 「生物の体内環境の維持」(生物基礎)

生物基礎の「生物の体内環境の維持」の分野の内容を中心に出題する。本問では、ヒトの心臓のはたらきについて、自律神経やホルモンのはたらきとともに、基本的な知識や理解を問う。また、グラフをもとに心臓の拍動について考察させ、理解を問う。

第4問 「生物の多様性と生態系」(生物基礎)

生物基礎の「生物の多様性と生態系」の分野の内容を中心に出題する。本問では、水界の生態系について、基本的な知識や理解を問う。また、温暖化や自然浄化についても理解を問う。

【世界史】

〈出題のねらい〉

高校で学習した世界史Bの範囲から、時代・地域・分野ともに幅広く出題している。

第1問 ヨーロッパ史からの出題。シチリア島の歴史を題材に、歴史的基本事項・時代背景・文化の交流などを問う。

第2問 アジア史からの出題。モンゴル民族の発展を題材に、中国史との関連を重視しながら問う。

第3問 現代史からの出題。20世紀の国家や民族の分断を題材に、関係する諸事項、歴史背景や課題などを問う。

第4問 テーマ史の出題。「皇帝」の称号を題材に、「皇帝」の称号にまつわる諸事項を問う。

【日 本 史】

〈出題のねらい〉

高校で学習した日本史Bの全範囲から出題している。分野は政治・社会経済・文化・外交から出題している。

第1問 1大問を、A 藤原兼家、B 足利義教、C 水野忠邦、D 浜口雄幸の4人の人物を中心とした時代に分け、リード文の穴埋め・年代整序・文章選択などの形式で問う。

第2問 古代から現代の貨幣の歴史について、幅広く問う。

第3問 古代から現代の用語や出来事について、地図を使って関係する場所を問う。

第4問 古代から現代までの文化史について、文芸を中心に史料を用いるなどして幅広く問う。

【地 理】

〈出題のねらい〉

地理Bの範囲から、幅広く出題している。資料をもとに思考力を問う。

第1問 地形図をもとに読図の基本事項とともに、気候、都市の統計、観光地などから出題する。

第2問 世界と日本の地形について幅広く出題する。

第3問 世界と日本の人種・民族、生活文化、移民と難民について幅広く出題する。

第4問 カナダについて、気候、地形と自然環境、民族問題、貿易、カナダと外国との結びつきなどから幅広く出題する。

第5問 南アジアについて、自然環境、河川流域の地誌、生活文化、産業、環境問題などから幅広く出題する。